

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

事業名 富士スピードウェイの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（富士スピードウェイ）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意のとおり、当該事業は民間所有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、組織委員会の負担</li> <li>パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく）</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>自転車ロードレース及びタイムトライアル競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各 FA 及び IF、OBS 等との協議結果に基づき、既存施設を活用</li> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意で公費負担とされたパラ開催経費を構成するパラ競技会場の施設整備であり、公費負担の対象として適切と考える</li> <li>V2 予算内</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

事業名 江ノ島ヨットハーバーの実施設設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（江ノ島ヨットハーバー）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意のとおり、当該事業は都外自治体所有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委員会負担のオーバーレイ）を除き都負担</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意において、オーバーレイ、仮設等のインフラ整備は組織委員会が担うこととなっている</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC 及び IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックで求められている要件に基づいた会場整備</li> <li>セーリング競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技会場は、各 FA 及び IF、OBS 等との協議に基づき神奈川県所有の恒設施設を活用</li> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積もりを基に精査した標準単価により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる</li> <li>IOC 推奨の、過去大会に知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議して作成しているため妥当である</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意で公費負担とされた、神奈川県所有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であるとする</li> <li>V2 予算内</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

事業名 武蔵野の森総合スポーツプラザの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（武蔵野の森総合スポーツプラザ）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委員会のオーバーレイ）を除き都の負担</li> <li>パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく）</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うことになっている。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>バドミントン、近代五種（フェンシング）及び車いすバスケットボール競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意で工費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、工費負担の対象として適切であると考ええる。</li> <li>V2 予算内</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

事業名 東京スタジアムの実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（東京スタジアム）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委員会のオーバーレイ）を除き都の負担</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うことになっている。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>サッカー、ラグビー及び近代五種（水泳、フェンシング、馬術、レーザーラン）競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意で工費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、工費負担の対象として適切であると考ええる。</li> <li>V2 予算内</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

## &lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

事業名 武蔵野の森公園の実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（武蔵野の森公園）

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委負担のオーバーレイ）を除き都の負担</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっていることとなっている</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>自転車ロードレース競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>大卒の合意で公費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であるとする</li> <li>V2 予算内</li> </ul>	

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

## &lt;個別案件確認表（組織委員会）&gt;

組織委員会担当確認 2018年7月5日

東京都作業部会確認 2018年7月25日

事業名 青海アーバンスポーツ会場の実施設計・施工

案件名 仮設オーバーレイ実施設計・施工等一括発注 第三弾（青海アーバンスポーツ会場）

確認の視点	組織委員会の見解	備考	
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意のとおり、当該事業は都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、プレハブ・テント（組織委員会のオーバーレイ）を除き都の負担</li> <li>パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく）</li> </ul>		
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うことになっている。</li> <li>整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能</li> </ul>		
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備</li> <li>3×3、スポーツクライミング及び5人制サッカー競技会場の施設</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストコンサルが国内外のサプライヤーからの見積りを基に精査した標準単価等により積算</li> </ul>	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算内に収まる。</li> <li>IOC 推奨の、過去大会知見を有する会場計画アドバイザーが作成した標準プランを基に、各 FA と協議し作成しているため、妥当である。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意で工費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、工費負担の対象として適切であると考ええる。</li> <li>V2 予算内</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。